

平成 24 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	020100	TEL	2998-9046		
事業コード	ダイアプラン推進事業	企画総務課						
020116			グループ	広域行政担当				
開始年度		昭和	63	年度	→	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類別	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令	
	分野別計画・指針	第2次埼玉県西部地域まちづくり構想・計画				
	関連・類似事業	埼玉県西部第一広域行政圏計画推進事業				
	総合計画の体系	章	行財政運営	節	地方分権	基本方針
事業開始の背景	埼玉県が進めていた地域中心都市構想や拠点都市構想において、地域性を重視した広域(ネットワーク)の考えと圏域の設定が促進され、県のレベルアップを図ろうとしていた。そのような県の意向を受け、従来から馴染みの深かった所沢市、飯能市、狭山市、入間市で協議会を設立した。					

③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	公共施設などの相互利用や施設間のネットワーク化、交通網整備の研究など圏域住民の利便性や交流を図る。また、共通した行政課題への取組み、イベントなどの共同開催などにより構成4市の連携を推進する。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)				
	埼玉県西部地域まちづくり協議会圏域市民(所沢市・飯能市・狭山市・入間市)	対象数	単位	平成 22 年度	733,150 人
			平成 23 年度	731,622 人	
事業の具体的な内容及び実施方法					
①文化施設・体育施設などの公の施設の相互利用 ②圏域住民が参加する交流事業(講演会・イベントなど) ③6専門部会(清掃・図書館・地域情報化・男女共同参画・広域行政研究・環境)による行政課題の解決に向けての事業実施及び検討。 ④4市共同によるパンフレット等の作成					

④経費	《会計種別》	一般会計	平成 22 年度 (千円)	平成 23 年度 (千円)	平成 24 年度 (千円)	
	当初予算		754	679	685	
	決算(見込み含む)		754	679		
	(非常勤特別職員)	(臨時の任用職員)	(人)	(人)	(人)	※「財源内訳」について平成24年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	正規職員人件費		0.41 人	3,797	0.38 人	
	事業費合計		4,551	4,172		
財源内訳	一般財源		4,551	4,172	685	
	国・県支出金					
	その他()					

⑤実績・成果	項目名	計算方法	単位	H 22	H 23	H24見込み	将来目標	
	活動実績	相互利用施設	圏域内の相互利用可能施設	施設	73	76	77	80
		相互利用施設利用者数	圏域内の市民が圏域内他市の施設を利用した延べ人数	人	459,595	500,593	510,000	550,000
		交流事業参加者数	圏域交流事業に参加した人数	人	500	626	1,000	1,200
	成果指標	市民相互交流者数	圏域施設相互利用者数+交流事業参加者数	目標値	732,457	730,893	510,000	550,000
				実績	460,095	501,219	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」の拡大を図る	<input type="checkbox"/> 「実績」の縮小を図る
昨年度中に改善した点		防災行政の重要性が高まるなか、構成4市(所沢市・飯能市・狭山市・入間市)での強い連携のもと、防災部会の設置の検討を行ってきた(平成24年度設置)。						

⑥評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	方今向後の方向性の事業の活動(回数、範囲など)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持
			事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他()
			次年度予算	<input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
	評価理由と今後の方向性(課題と対応)			
構成4市が一体となって広域的な連携を深めつつ、圏域の特性や伝統、文化などを活かしながら、魅力ある圏域づくりに引き続き取り組んでいく。				
事務改善ミーティングで示された意見とその対応				
評価日	H24.6.1	評価者職氏名	企画総務担当参事 本田静香	

⑦環境影響	原因活動(公共施設の相互利用)	原因活動(会議開催等時に紙類の使用)	規制を受ける主な環境法令等の名称
	<input type="checkbox"/> 自治体間の連携の推進 <input type="checkbox"/> 6-4広域的な連携の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 天然資源(森林・化石燃料)の減少 <input type="checkbox"/> 廃棄物の排出 <input type="checkbox"/> 公害(大気汚染・騒音等)の発生 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> その他()	有害な影響を与える緊急事態の内容
	有益な環境影響(重大なものには○)	有害な環境影響(重大なものには○)	